

# 10グループの特徴

Group	グループ名称	特徴	世帯数	世帯%	人口密度指標
1	都心富裕層地区	都心に居住する単身・二世帯を中心とした高層マンション地区	3,698,673	6.6%	4.3
2	都心ファミリー地区	都心近郊に広がる住宅街の子育てファミリー地区	6,457,893	11.6%	2.9
3	シングル地区	シングルが多く・社宅や寮などが多いエリア	6,611,541	11.8%	2.4
4	市街地近郊ファミリー地区	郊外に住み公共交通機関を利用して通勤・通学するファミリー地区	8,706,426	15.6%	2.1
5	郊外ファミリー地区	郊外エリアの主として自動車通勤・通学するファミリー地区	8,151,271	14.6%	1.1
6	郊外外縁部地区	郊外外縁部に居住し、地元の小規模な企業に勤務するファミリー地区	6,477,755	11.6%	0.9
7	地方三世代ファミリー地区	町村部など三世代同居のファミリーが多い地区	5,200,228	9.3%	0.3
8	高齢者夫婦地区	市街地近郊の居住する子育ての終わった夫婦が多く住む地区	5,103,984	9.1%	0.8
9	高齢化進展地区	単身・高齢者世帯の比率が比較的高いエリア	3,193,128	5.7%	1.3
10	農山村地区	人口密度の低い主として農林水産業に従事する割合の高いエリア	2,222,751	4.0%	0.1
		<b>合計世帯数</b>	<b>55,823,650</b>		

人口密度指標：日本全体の平均人口密度をとした指数

# 10グループ | 年齢分布

その地区の活力と生活者のライフサイクルを理解する上でキーとなる指標。

Group	年 齢																				
	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100歳以上
1	1.17	0.82	0.65	0.68	1.44	2.16	1.90	1.55	1.31	1.17	1.13	0.93	0.69	0.56	0.58	0.59	0.54	0.52	0.49	0.47	0.50
2	1.41	1.31	1.20	1.16	1.31	1.34	1.30	1.29	1.27	1.26	1.23	1.04	0.78	0.65	0.65	0.66	0.59	0.54	0.47	0.43	0.41
3	1.09	0.88	0.80	1.03	1.81	1.67	1.40	1.18	1.08	1.07	1.05	0.93	0.78	0.69	0.71	0.72	0.68	0.63	0.55	0.48	0.52
4	1.26	1.17	1.15	1.17	1.23	1.16	1.14	1.13	1.13	1.18	1.17	1.01	0.83	0.76	0.82	0.88	0.77	0.65	0.54	0.48	0.46
5	1.42	1.43	1.40	1.28	1.10	1.11	1.19	1.20	1.21	1.20	1.10	0.96	0.83	0.77	0.78	0.78	0.69	0.59	0.52	0.47	0.41
6	1.17	1.14	1.13	1.11	1.07	1.09	1.09	1.07	1.06	1.07	1.02	0.97	0.92	0.91	0.95	0.97	0.88	0.80	0.75	0.75	0.74
7	0.93	0.99	1.01	0.99	0.80	0.79	0.86	0.92	0.94	0.92	0.94	1.02	1.11	1.14	1.11	1.08	1.12	1.19	1.28	1.38	1.52
8	0.93	0.97	0.96	0.96	0.88	0.91	0.93	0.95	0.96	0.98	0.98	0.99	1.01	1.03	1.08	1.12	1.09	1.10	1.14	1.24	1.37
9	0.97	0.85	0.82	0.94	1.18	1.11	1.05	0.95	0.94	0.99	1.01	0.97	0.90	0.90	0.96	1.03	1.04	1.06	1.15	1.31	1.40
10	0.60	0.72	0.81	0.77	0.61	0.64	0.68	0.77	0.81	0.80	0.87	1.06	1.27	1.36	1.27	1.21	1.36	1.45	1.47	1.35	1.14
全国の構成比	3.6%	4.0%	4.2%	4.5%	4.7%	4.8%	5.1%	5.8%	6.6%	7.7%	6.8%	6.2%	5.8%	6.4%	7.1%	5.5%	4.2%	2.9%	1.4%	0.4%	0.1%

高齢化

全国の構成比を1として指数表示

# 10グループ | 配偶関係・世帯規模・家族類型

家族の類型はなにを優先して意思決定するかを理解する上でヒントとなる指標。

Group	配偶関係				世帯規模							家族類型											
	未婚	有配偶	死別・離別	外国人	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯	7人以上	一般世帯人員	施設世帯―世帯人員	親族のみ	核家族	うち夫婦のみ	うち夫婦と子供から成る	核家族以外	非親族を含む	単身	3世代	高齢夫婦のみの世帯	高齢の単独世帯
1	1.28	0.79	0.59	2.84	1.94	0.66	0.57	0.50	0.28	0.13	0.07	1.02	0.33	0.55	0.62	0.65	0.62	0.19	1.67	1.93	0.13	0.38	0.72
2	1.10	1.02	0.64	1.55	1.19	0.88	1.00	1.13	0.69	0.32	0.15	1.02	0.35	0.91	1.04	0.89	1.25	0.32	1.34	1.19	0.28	0.65	0.73
3	1.34	0.82	0.81	1.84	1.74	0.73	0.66	0.63	0.45	0.26	0.16	1.01	0.45	0.64	0.71	0.69	0.72	0.30	1.52	1.74	0.25	0.53	0.88
4	1.08	1.01	0.78	1.05	1.06	0.97	1.05	1.12	0.80	0.44	0.24	1.01	0.46	0.97	1.09	0.96	1.23	0.43	1.25	1.06	0.40	0.84	0.86
5	1.01	1.06	0.80	1.13	0.88	0.95	1.11	1.35	1.16	0.76	0.49	1.02	0.38	1.06	1.15	0.96	1.39	0.64	1.10	0.88	0.65	0.81	0.75
6	1.02	1.01	0.96	1.11	1.03	1.01	1.00	1.04	0.95	0.72	0.53	1.00	0.87	0.99	1.05	1.02	1.09	0.70	1.08	1.03	0.69	0.98	0.95
7	0.92	1.03	1.10	0.57	0.73	1.07	1.13	1.14	1.37	1.52	1.48	0.98	1.75	1.14	1.06	1.07	1.05	1.48	0.77	0.73	1.52	1.16	1.00
8	0.97	0.99	1.10	1.13	1.01	1.09	0.97	0.94	0.86	0.67	0.50	0.98	1.92	0.99	1.04	1.11	0.99	0.76	1.11	1.01	0.71	1.14	1.11
9	1.08	0.91	1.08	1.27	1.30	0.92	0.83	0.78	0.61	0.43	0.28	0.98	1.85	0.82	0.89	0.91	0.86	0.50	1.29	1.30	0.45	0.86	1.12
10	0.84	1.05	1.19	0.48	0.75	1.09	1.07	0.92	1.25	1.91	2.50	1.01	0.43	1.13	0.95	1.09	0.78	1.92	0.52	0.75	1.98	1.27	1.20
全国の構成比	26.3%	55.9%	13.6%	1.9%	38.0%	28.1%	16.6%	11.9%	3.8%	1.1%	0.5%	97.6%	0.2%	60.8%	54.1%	20.0%	25.0%	6.8%	0.9%	38.0%	4.2%	11.7%	12.1%

全国の構成比を1として指数表示

# 10グループ | 住環境

住居所有と居住年数は地域への帰属意識を知る指標になり、住宅の建て方は景観を理解する指標。

Group	住居所有					住宅の建て方								居住期間					
	持ち家	公営借家	民営借家	給与住宅	間借り	住宅以外	一戸建	長屋建	共同住宅	1から2階建	3から5階建	6から10階建	11階建以上	出生時から	1年未満	1から5年	5から10年	10から20年	20年以上
1	0.50	0.54	2.82	2.39	1.70	0.82	0.24	0.42	3.25	1.17	2.72	5.51	8.44	0.39	1.59	1.49	1.17	0.84	0.45
2	0.77	1.00	1.84	1.49	1.17	0.64	0.53	0.79	2.43	1.59	2.33	3.25	4.31	0.51	1.25	1.33	1.38	1.33	0.63
3	0.55	1.20	2.53	2.12	1.10	1.55	0.43	0.91	2.66	1.49	2.89	3.85	3.80	0.46	1.71	1.55	1.21	0.99	0.61
4	0.86	1.12	1.57	0.89	1.11	0.58	0.74	1.16	1.79	1.60	1.81	2.08	1.91	0.55	1.07	1.15	1.20	1.29	0.83
5	0.95	1.08	1.22	0.97	1.06	0.74	0.96	1.10	1.14	1.66	1.00	0.71	0.64	0.73	1.06	1.16	1.29	1.34	0.84
6	0.93	1.55	1.15	1.25	1.14	1.28	0.96	1.32	1.10	1.47	1.11	0.69	0.46	0.75	1.15	1.16	1.13	1.10	0.98
7	1.20	0.68	0.38	0.50	0.87	0.76	1.26	0.78	0.27	0.46	0.25	0.08	0.04	1.34	0.80	0.81	0.86	0.89	1.14
8	1.00	1.18	0.89	1.11	1.15	1.40	1.04	1.45	0.82	1.06	0.81	0.58	0.45	0.81	1.11	1.07	1.05	1.01	1.07
9	0.79	1.76	1.46	1.74	1.10	1.64	0.75	1.43	1.57	1.42	1.73	1.55	1.53	0.63	1.45	1.26	1.09	1.02	0.89
10	1.27	0.44	0.17	0.37	0.72	0.68	1.33	0.56	0.09	0.15	0.08	0.03	0.01	1.74	0.44	0.50	0.60	0.71	1.28
全国の構成比	60.6%	4.8%	29.3%	2.8%	1.2%	1.3%	52.4%	1.5%	43.4%	11.8%	16.0%	9.0%	6.6%	12.7%	5.7%	16.6%	12.9%	18.1%	34.0%

全国の構成比を1として指数表示

# 10グループ | 産業と職業

産業分野と職業の種類から、地域で共有されやすい価値観やライフスタイルのヒントがあります。

Group	産 業																				職 業												
	A 農林業	うち農業	B 漁業	C 鉱業	D 建設業	E 製造業	F 電気・ガス・熱供給・水道業	G 情報通信業	H 運輸業・郵便業	I 卸売業・小売業	J 金融業・保険業	K 不動産業・物品賃貸業	L 学術研究・専門・技術	M 宿泊業・飲食サービス業	N 生活関連サービス業・娯楽業	O 教育・学習支援業	P 医療・福祉	Q 複合サービス事業	R サービス業	S 公務	T 分類不能の産業	A 管理的職業	B 専門的・技術的職業	C 事務	D 販売	E サービス職業	F 保安職業	G 農林漁業	H 生産工程	I 輸送・機械運転	J 建設・採掘	K 運搬・清掃・包装等	L 分類不能の職業
1	0.02	0.02	0.02	0.33	0.53	0.55	0.79	6.50	0.70	1.03	2.50	3.11	2.82	1.18	1.08	1.07	0.75	0.25	1.18	0.77	1.47	1.78	1.72	1.53	1.47	0.85	0.66	0.02	0.35	0.38	0.39	0.56	1.41
2	0.07	0.06	0.03	0.26	0.75	0.72	1.11	3.77	1.00	1.12	2.02	1.94	1.98	0.99	1.00	1.33	0.96	0.44	1.14	1.07	0.99	1.14	1.52	1.46	1.37	0.87	0.94	0.06	0.56	0.65	0.64	0.78	0.94
3	0.10	0.10	0.10	0.20	0.73	0.70	1.33	2.09	0.85	1.18	1.62	1.93	1.57	1.44	1.09	1.32	1.03	0.47	1.17	1.18	1.22	1.14	1.38	1.25	1.39	1.10	1.05	0.10	0.64	0.65	0.66	0.86	1.19
4	0.11	0.11	0.05	0.18	0.93	0.82	0.92	2.14	1.31	1.17	1.38	1.69	1.41	1.04	1.07	1.16	1.01	0.49	1.16	0.90	1.15	0.88	1.22	1.22	1.32	1.01	1.06	0.11	0.76	0.96	0.90	1.06	1.11
5	0.26	0.26	0.18	0.42	0.98	1.25	1.08	0.85	1.19	1.09	1.07	0.95	1.04	0.95	1.06	1.12	1.06	0.72	0.95	1.04	0.87	0.85	1.11	1.09	1.08	0.97	1.10	0.25	1.18	1.02	0.97	1.05	0.85
6	0.38	0.38	0.31	0.52	1.02	1.21	1.26	0.70	1.06	1.06	0.99	0.89	0.98	1.01	1.08	1.09	1.07	0.81	1.00	1.11	0.87	0.92	1.05	1.04	1.01	1.04	1.19	0.37	1.18	1.03	1.02	1.07	0.86
7	1.42	1.43	1.43	2.35	1.12	1.15	0.86	0.44	0.96	0.90	0.75	0.51	0.71	0.86	0.96	0.90	1.01	1.25	0.93	1.02	0.95	0.93	0.84	0.89	0.81	0.99	1.03	1.42	1.19	1.10	1.15	1.04	0.97
8	0.59	0.57	0.56	0.70	1.02	1.00	1.32	0.71	1.11	1.10	0.94	1.00	0.96	1.05	1.14	1.03	1.05	1.06	1.04	1.05	0.81	1.19	1.00	1.01	1.07	1.07	1.05	0.58	1.04	1.08	1.00	1.07	0.81
9	0.31	0.30	0.27	0.28	0.88	0.81	0.96	1.03	1.01	1.15	1.12	1.79	1.16	1.28	1.07	1.10	1.00	0.57	1.07	1.09	1.26	1.46	1.10	1.04	1.22	1.10	1.20	0.30	0.79	0.87	0.84	0.99	1.26
10	2.76	2.77	2.89	1.66	1.14	0.94	0.61	0.28	0.80	0.73	0.54	0.34	0.56	0.81	0.77	0.67	0.89	1.67	0.88	0.80	1.06	0.81	0.66	0.73	0.63	0.91	0.71	2.78	1.03	1.13	1.21	0.96	1.10
全国の構成比	3.2%	3.1%	0.2%	0.0%	7.3%	15.7%	0.5%	3.4%	5.4%	15.3%	2.4%	2.2%	3.6%	5.4%	3.4%	4.9%	13.2%	0.8%	6.6%	3.5%	3.0%	2.0%	17.8%	20.2%	11.9%	11.6%	1.9%	3.3%	13.3%	3.4%	4.3%	7.3%	2.8%

全国の構成比を1として指数表示

# GROUP 1 | 都心富裕層地区

世帯数

3,698,673世帯

人口密度指数

4.3

世帯構成比

6.6%



東京23区に卓越する居住者グループで、中高層マンションが密集し、様々な都市機能が集積する居住環境。

公共交通機関へのアクセス性もよいエリア。

独身者・外国籍の居住者など多様性のある居住者層が特徴。

## 基本データ

- 情報通信業、学術研究・専門・技術、不動産業、金融保険の管理職や専門技術職に従事する人の割合が高い地区。
- 出生時からの居住者は少なく、多くは5年未満の居住者で居住者の入れ替わりがダイナミック。
- 住宅地価は日本の平均の10倍を超えており人口密度も高く、公共交通機関、オフィスや商業など高度な都市機能が充実しているエリア。
- 70%以上が単身世帯で、未婚の人は34%。20代から40代の人口が多く外国籍の居住者が2.8倍(5.6%)居住している。

## 解説

- 中高層マンションの立ち並ぶエリア。ビジネス・商業・エンターテインメントのアクセス性が最も高いアーバンライフを満喫できる居住環境。

# GROUP 2 | 都心ファミリー地区

世帯数

6,457,893世帯

人口密度指数

2.9

世帯構成比

11.6%



都心近郊にひろがる住宅街ファミリー。

1世帯3-4人家族で構成され両親の学歴と役職も高く、通勤・通学の良好なエリアの比較的大きな家に住んでいる世帯が多い。

## 基本データ

- 情報通信業、学術研究・専門・技術、不動産業、金融保険、教育・学習支援業に勤務する専門技術職、事務、販売に従事する人の割合が高い地区。
- 出生時からの居住者は少ないが、住み始めてから5年から20年の世帯が多く公共交通機関へのアクセスも良好で進学校などへの通学に至便な居住環境。
- 戸建・中低層のマンションに住む夫婦と子供からなる核家族ファミリーで、乳児から中高生の子育て世帯と、成人した子供と同居するファミリーで構成される。就学児童・生徒のいるファミリー地区では最も地価の高いエリア。

## 解説

- 再開発エリアで駅近で住宅地価の高いエリアなどが該当するが、昔からのお屋敷町と呼ばれるエリアも含まれる。高齢化が進むとGroup8,9などに分類される。

# GROUP 3 | シングル地区

世帯数

6,611,541世帯

人口密度指数

2.4

世帯構成比

11.8%



20代から30代の単身世帯が中心のエリア。  
社宅、学生寮、独身寮、官舎などに住む流動性の高い居住者のエリア。

## 基本データ

- 20代から30代の単身世帯が68%以上の地区で、宿泊・飲食などサービス業をはじめ不動産業、金融保険、教育・学習支援業に従事する事務、専門職、販売員が多い。
- 未婚率が日本の平均の1.3倍、外国人居住者も1.8倍と多いのが特徴でGroup1と共通する。
- 短大の在籍割合が全国平均の1.5倍、大学で2.3倍、大学院で4.1倍となっている。そのため非就労者の割合も高く所得のばらつきが大きく、居住年数も1年未満が平均の1.6倍と流動性が高い居住者で構成されている。

## 解説

- 大都市圏の駅周辺、地方都市の市街地、観光地や温泉街の社宅や公務員の独身寮が多い地区、学生街などが該当し若い単身世帯の密度が高く高齢者の比率が低いのが特徴。



## GROUP 4 | 市街地近郊ファミリー地区

世帯数

8,706,426世帯

人口密度指数

2.1

世帯構成比

15.6%



郊外に居住し都心・市街地へ公共交通機関で通勤・通学するホワイトカラー系核家族ファミリー。

中高生や大学生の子育てファミリー世帯が多く、日本のアッパーミドルクラスをイメージさせるグループ。

### 基本データ

- 公共交通機関を利用して都市・市街地に通勤・通学する情報通信、運輸業、不動産業、金融保険、教育・学習支援業に従事する事務、専門職、販売員が多い。
- 戸建て中層から低層のマンション・アパートに5年から20年ぐらい住んでいる核家族子育てファミリーで構成されている。
- 自宅から自転車、オートバイ、バス、電車など乗り継いで市外や県外へ通勤・通学している世帯が多いのが特徴。

### 解説

- 公共交通機関を利用して通勤するホワイトカラー系子育てファミリーで、52%の世帯が自宅を所有している。

# GROUP 5 | 郊外ファミリー地区

世帯数

8,151,271世帯

人口密度指数

1.1

世帯構成比

14.6%



郊外に居住し、近郊の大手メーカー等に自家用車で通勤する。乳幼児の子育てファミリー世帯が多く、日本の中流を代表するグループ。

## 基本データ

- 自家用車、オートバイを利用して近隣の市区および県外に通勤・通学もしくは、県内の他市区に就業している勤労世帯が多い地区。
- 戸建、低層アパートに住んでいる核家族・子育てファミリー、未就学児童のいるヤングファミリーなど子育て世帯が多い。
- 製造業、流通、医療福祉関連の事務、専門職、生産工程に従事する世帯が多く、非就労者が少ないのも特徴。

## 解説

- 自家用車で通勤するブルーカラー系核家族ファミリー。居住地区全体は勤労世帯が多く親子で4人の家族構成が多い。

## GROUP 6 | 郊外外縁部地区

世帯数

6,477,755世帯

人口密度指数

0.9

世帯構成比

11.6%



郊外外縁部に居住する子育てファミリー。

古いコミュニティーエリアと小規模な開発が行われた地区が混在する複雑な町並みが特徴。地元の中小メーカーに勤める勤労世帯が多い。

### 基本データ

- 郊外外延部の戸建てやアパート、公営住宅・給与住宅・長屋・間借りが混在し、自家用車または勤め先のバスなどで近隣の事務所・工場などに就労している子育て世帯が比較的多いエリア。
- 製造業、医療福祉、運輸、清掃、梱包、保安業、公務の事務、専門職、生産工程に従事する世帯が多い。
- 地元で長く居住する人と数年前に引っ越してきた人たちが混在するのも特徴。

### 解説

- 郊外外延部の古いコミュニティーとミニ開発が行われ新しく流入してきた世帯が混在する。公営住宅・住宅以外に居住するなど町工場や倉庫が隣接するような複雑な町並みが特徴。

# GROUP 7 | 地方三世代地区

世帯数

5,200,228世帯

人口密度指数

0.3

世帯構成比

9.3%



地方の町村部などの三世代ファミリー地区。

居住年数は長く、実家を出ることなく両親と同居する世帯が多い。

## 基本データ

- 持ち家の戸建てを中心に、生まれたときから住んでいる2人世帯から三世代の家族が多く、その反対に単身世帯の少ないエリア。
- 最終学歴が、中学・高校卒業の割合が高く、農林水産業、鉱業、建設業に従事し、自宅が職場になっている世帯も多い。
- 高齢夫婦のみの世帯も国内平均の1.16倍で高齢化が進展している。

## 解説

- 専業・兼業を含め農林漁業に従事する大家族世帯が多い。自宅が職場で家族経営のビジネスを営む。

## GROUP 8 | 高齢者夫婦地区

世帯数

5,103,984世帯

人口密度指数

0.8

世帯構成比

9.1%



子供がすでに巣立っており、高齢夫婦のみの世帯が多いのが特徴。

ニュータウンや旧市街、別荘地などに多く出現するグループ。

### 基本データ

- 子供たちが巣立ったあとの65歳以上の夫婦世帯の割合が高い居住地区で通称「空っぽの巣」呼ばれるエリア。
- 戸建てを中心に中低層の公営住宅の風景が広がるかつてのニュータウンなどが多く該当する。
- 今後、若い子育て世帯の流入がないと急速に高齢化する懸念のある地域。

### 解説

- 65歳以上の夫婦世帯が多いことが特徴。特養老人ホームなど同じエリアにあることにより、このグループに分類されることもある。
- 2015年の分類ではGroup2, 4, 5の子育てファミリー地区に区分されていた地区の一部が2020年には「高齢者夫婦地区」に分類されるようになった。

## GROUP 9 | 高齢化地区

世帯数

3,193,128世帯

人口密度指数

1.3

世帯構成比

5.7%



一人暮らしの高齢者比率が高いことが特徴。

市街地から地方の中間山村にかけての公団・公営住宅、施設などに居住しているグループ。

### 基本データ

- 65歳以上と20代から30代の単独世代の割合が高い居住地区。公営・都市再生機構・公社の借家などに暮らす人の割合も高い。
- 出生時から居住している人の割合は比較的少なく、1年未満の居住者も多く、戸建てと共同住宅が混在する。
- 現役世代は管理職的職業に従事する人も多く、小売、金融、不動産、宿泊・飲食、販売、サービスなどの産業分野に従事している。

### 解説

- 単独の高齢者比率のが高いことが特徴の地区。地方都市の旧市街地や再開発から取り残されたエリアや山間部の集落に至るまで分布する。
- 2015年の国勢調査でGroup2,4,8のエリアの一部が当該グループになったものもある。
- 若い世代の流入がないと急速に高齢化してゆくエリアである。

## GROUP 10 | 農山村地区

世帯数

2,222,751世帯

人口密度指数

0.1

世帯構成比

4.0%



農林水産業を中心とした伝統的コミュニティで、先祖代々受け継がれた土地に大家族で生業を営むグループ。

過疎化の進展する限界集落も含まれるが、生産力があるので活気がある。

### 基本データ

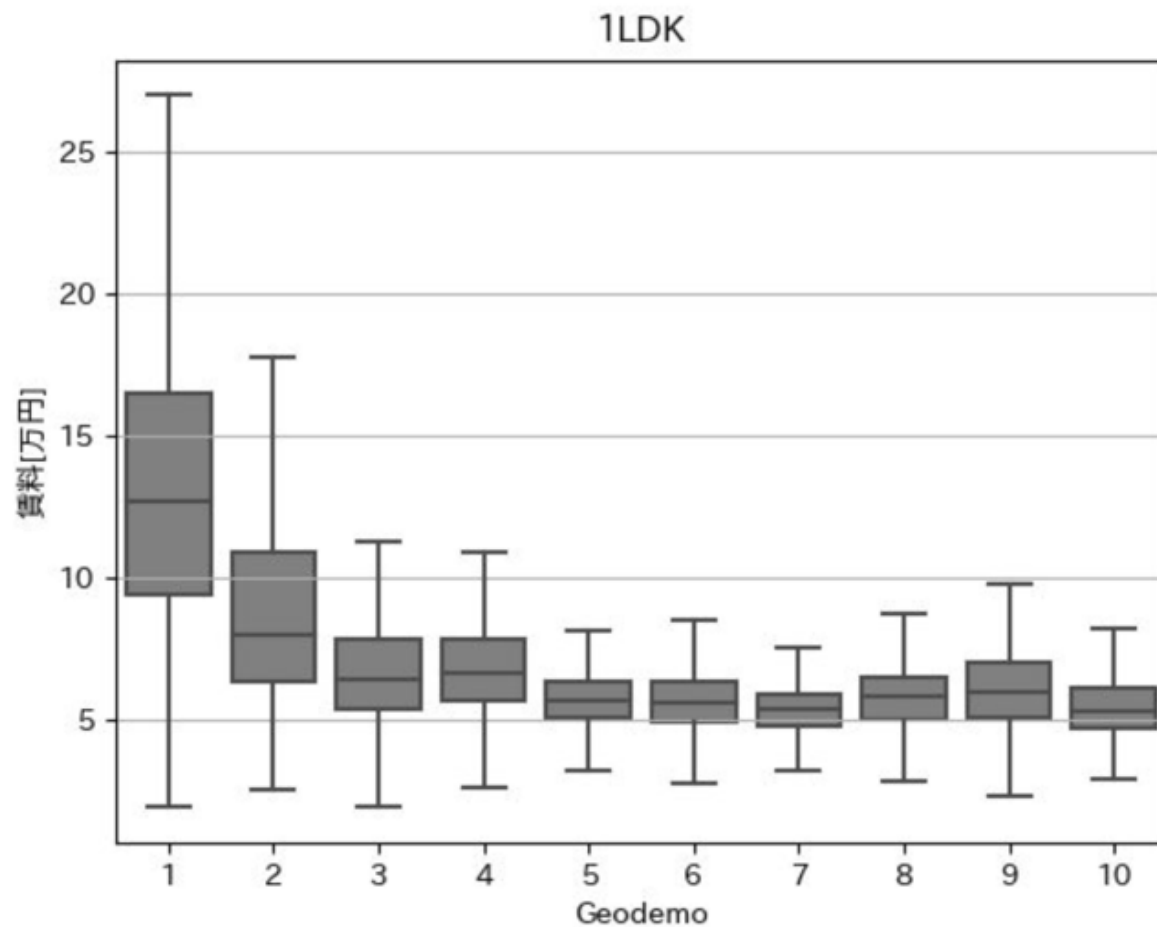
- 60歳以上の人口構成が日本の平均の1.2倍以上で、未婚者と外国人の比率が最も少ないエリア。
- 出生時からの持ち家戸建てに居住している人の割合が多く、一人世帯が少なく三世代家族を含む大家族が多い。
- 農林水産業に従事する世帯が最も高く、農協・漁協・森林組合で働く世帯も多い。

### 解説

- 農林水産業に従事する世帯が多い先祖代々の土地に住む伝統的なコミュニティエリア。
- 開発がほとんどされていないので、日本の里山の原風景を見ることができる。

# 家賃の違い

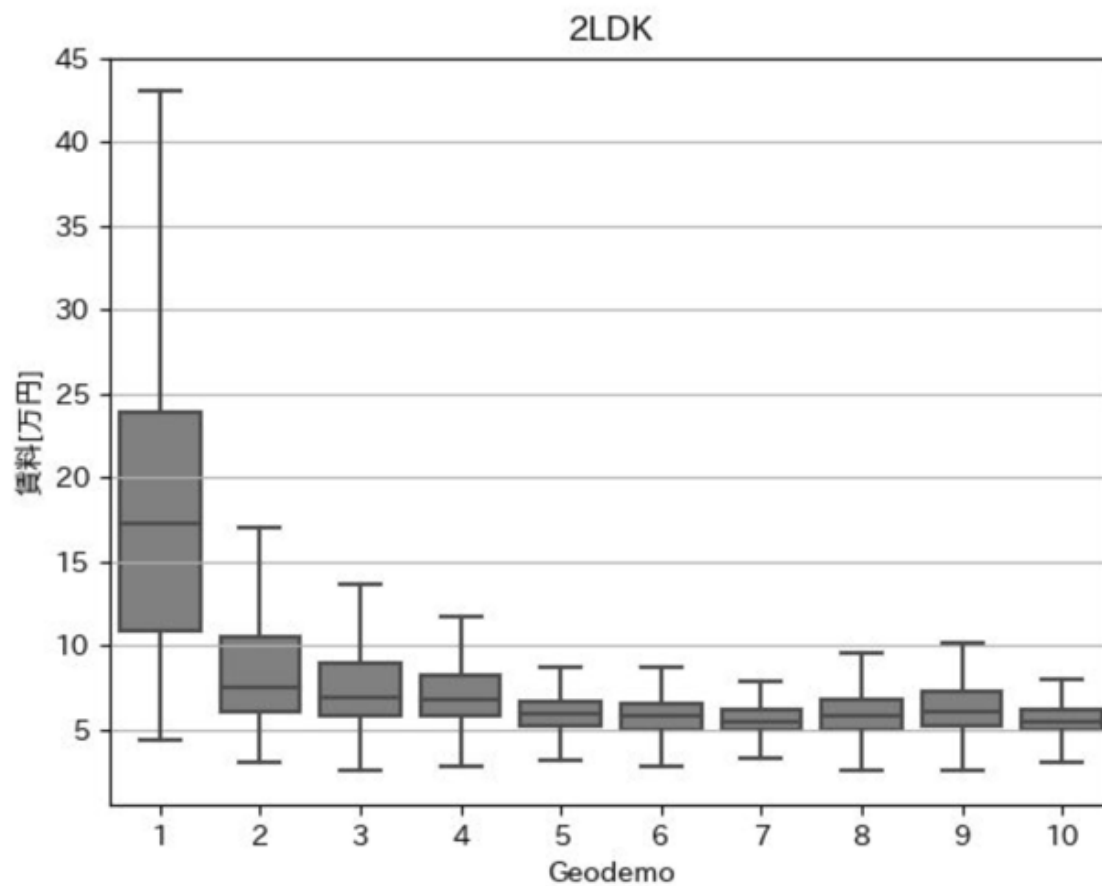
Group	グループ名称
1	都心富裕層地区
2	都心ファミリー地区
3	シングル地区
4	市街地近郊ファミリー地区
5	郊外ファミリー地区
6	郊外外縁部地区
7	地方三世帯ファミリー地区
8	高齢者夫婦地区
9	高齢化進展地区
10	農山村地区





# 家賃の違い

Group	グループ名称
1	都心富裕層地区
2	都心ファミリー地区
3	シングル地区
4	市街地近郊ファミリー地区
5	郊外ファミリー地区
6	郊外外縁部地区
7	地方三世代ファミリー地区
8	高齢者夫婦地区
9	高齢化進展地区
10	農山村地区



# 家賃の違い

Group	グループ名称
1	都心富裕層地区
2	都心ファミリー地区
3	シングル地区
4	市街地近郊ファミリー地区
5	郊外ファミリー地区
6	郊外外縁部地区
7	地方三世帯ファミリー地区
8	高齢者夫婦地区
9	高齢化進展地区
10	農山村地区

